

I 調査の概要

1 目的

この調査は、平成17年度に実施した「児童生徒の食生活等実態調査」のその後における意識、行動等の変化を把握するとともに、児童生徒等の食生活の状況や学校給食に関する内容を調査し、今後の学校における食育の推進及び学校給食の充実に資することを目的とする。

2 調査対象

全国47都道府県から選定した、完全給食実施公立学校（1クラス30名程度）の小学校5年生、中学校2年生及びその児童生徒のふだんの食事の用意をしている保護者（以下「保護者」という。）とする。

3 調査規模

- | | |
|--------------------|--------|
| (1) 都市部の小学生及び中学生 | 各30名程度 |
| (2) 農山漁村部の小学生及び中学生 | 各30名程度 |
| (3) 上記小学生及び中学生の保護者 | |

4 選定方法

都道府県教育委員会の選定による。

5 調査時期

平成19年11月（食事状況調査の実施期間中に同時に実施。）

6 調査方法

- (1) 独立行政法人日本スポーツ振興センターが学校に対して、調査用紙を配布し、回収の上集計を行う。
- (2) 調査用紙のうち、児童生徒用紙とその保護者用紙は1セットとする。
- (3) 調査用紙の記入は、児童生徒は学校で行い、保護者は家庭で行う。
- (4) 調査用紙は、無記名とする。

7 調査内容

- (1) 食に対する意識、知識
- (2) 食生活の実態
- (3) 食事マナー
- (4) 嗜好調査
- (5) 学校給食に対する認識等
- (6) 健康状態
- (7) 食育

8 配布数・回収数・回収率

区 分	配布数	回収数
小学校5年生	3,189	2,976
中学校2年生	3,296	3,039
計	6,485	6,015
回収率		92.8%

区 分	配布数	回収数
小学校保護者	3,189	2,805
中学校保護者	3,296	2,810
計	6,485	5,615
回収率		86.6%